



市民本位の市政をつくる

「元気な三田を取り戻すために」

市長就任あいさつ

この度、第8代目三田市長に就任しました田村克也です。市民の皆様宜しくお願い致します。

65年の永きにわたる三田市政のなかで、行政・政治経験のない民間出身の市長は、私が初めてとなります。これは、市民の皆様からの「元気な三田を取り戻したい」、「市民本位の市政を実現して欲しい」とのメッセージであり、市民自らの力で三田市政の新たな扉を開かれたことに、心から感謝すると共に皆様の思いに感銘を受けたところです。

今、三田市には、人口減少をはじめとする重要な課題や問題が沢山ありますが、私はこれから本格的に始まる市民の皆様と一緒に進めるまちづくりを想像しますと、ワクワクとした気持ちで一杯です。美辞麗句を並べるのではなく、リーダーとして、三田市民の代表として三田市を真剣に変えていきたい、今変えなければ三田市

の将来はないと強く思っています。

市長として開かれた市政・ガラス張りの市政を進めるため、積極的な情報提供・共有を行い、市民の皆様のお声を聞きながら、ひとつひとつ丁寧に課題を解決していくことをお約束いたします。

市民の皆様が、市政に対する「諦め」の気持ちを抱かれたり、「無関心」になられたりすることのないよう取り組んでまいりますので、まちづくりに積極的にご参加いただきますようお願い致します。

最後になりますが、三田市民の誇りを取り戻し、三田に住んで良かったと誰もが思えるまちを皆様と一緒に作ってまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三田市長 田村克也



田村 克也 たむら かつや

昭和41年5月30日生まれ（現在57歳）
平成20年から三田市在住。家族は妻と3人の子ども
関西大学法学部政治学科卒業後、第一勧業銀行（現みずほ銀行）に就職。31年間勤務し、主に法人融資を担当した。令和3年からは株式会社チャイルドで保育分野を担当。令和5年「元気な三田をとりもどす！」との思いから三田市長選挙に立候補し初当選を果たす。
日本拳法四段、野球、バレーボールも得意なスポーツマン